

1. 目的

【本発表における利益相反の開示】

本発表に関連して、開示すべき利益相反に該当する項目はありません。

- ✓ 協会けんぽでは健診結果で血圧、血糖、脂質が受診勧奨域かつ未治療の者（以下、「未治療者」）の医療機関受診率向上を目的に受診勧奨を実施している。
- ✓ 京都支部では効果的な受診勧奨実施のため、データ分析により未治療者の受診時期、属性（事業所業態・規模・健康宣言等）別の受診率等を把握し、効果的な受診勧奨を進めている。
- ✓ 今回はデータ分析により明らかになった未治療者の特徴、及び受診勧奨事業への活用方法を報告する。

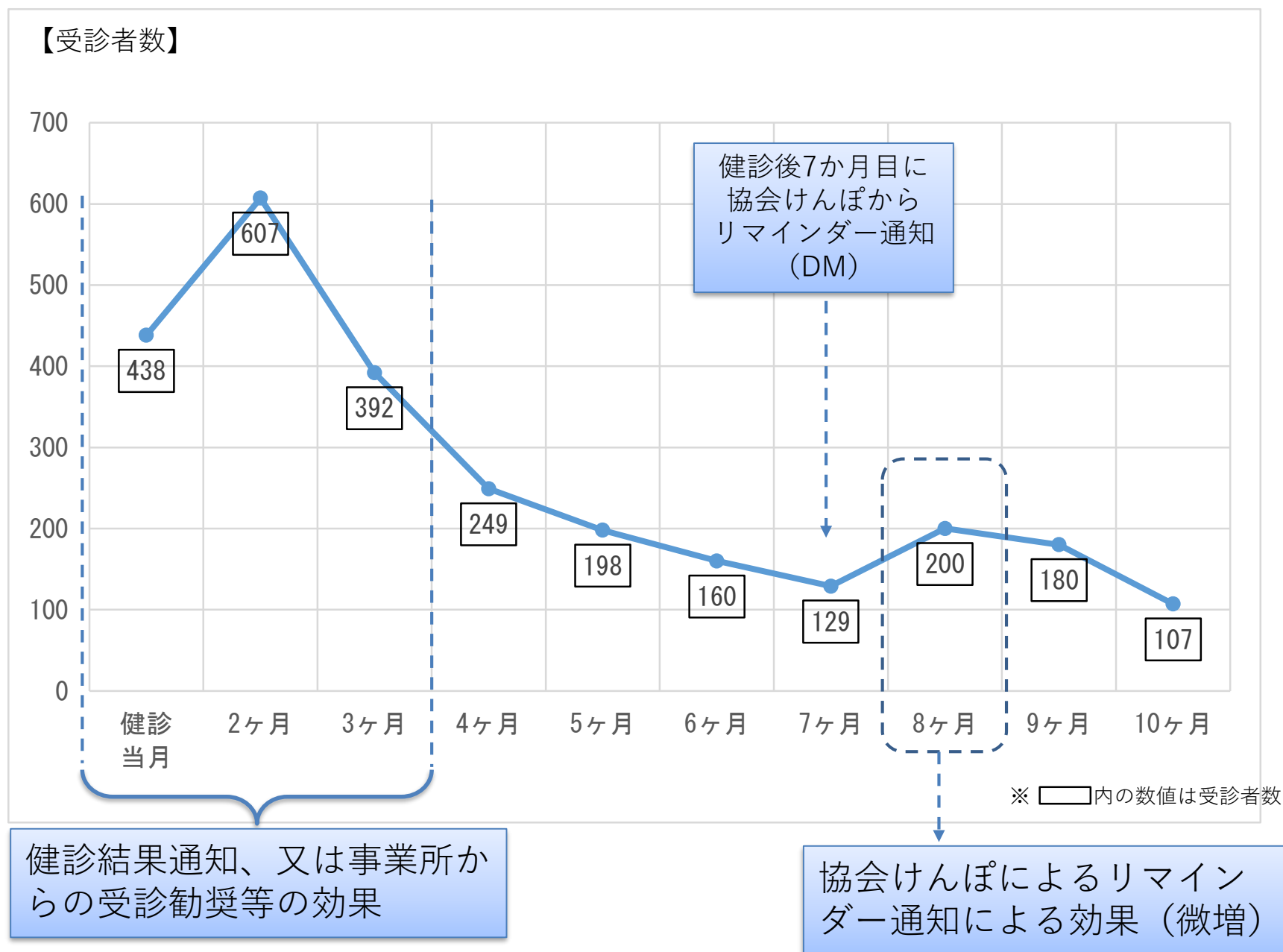
2. 分析方法

- ✓ 2023年4～9月に生活習慣病予防健診を受診した約13万人のうち、血圧、血糖、脂質が受診勧奨域（※）を超える者、レセプトにて健診受診の前4か月以内に医療機関を受診していない、かつ健診の問診において服薬無しの者を未治療者とした。
 - 【※受診勧奨域の基準】
 - ①血圧（収縮期血圧160mmHg以上、又は拡張期血圧100mmHg以上）
 - ②血糖（空腹時血糖値126mg/dl以上、又はHbA1c（NGSP値）6.5%以上）
 - ③脂質（LDLコレステロール値180mg/dl以上）
- ✓ 医療機関受診判定について、レセプト傷病名（ICD10コード）に高血圧（I10～15）、糖尿病（E10～14）、脂質異常症（E78）の記載がある者を受診者とした。
- ✓ 受診時期については、健診受診月から10か月以内の医療機関受診月を分析対象とした。
- ✓ 未治療者の受診率について、性年齢階級別、事業所業態別、事業所規模別、事業所の健康宣言有無別にカイ二乗検定による比較を行い、調整済み残差を算出した。解析にはSPSS Statistics 29を用い有意水準は5%とした。

3. 基本統計量

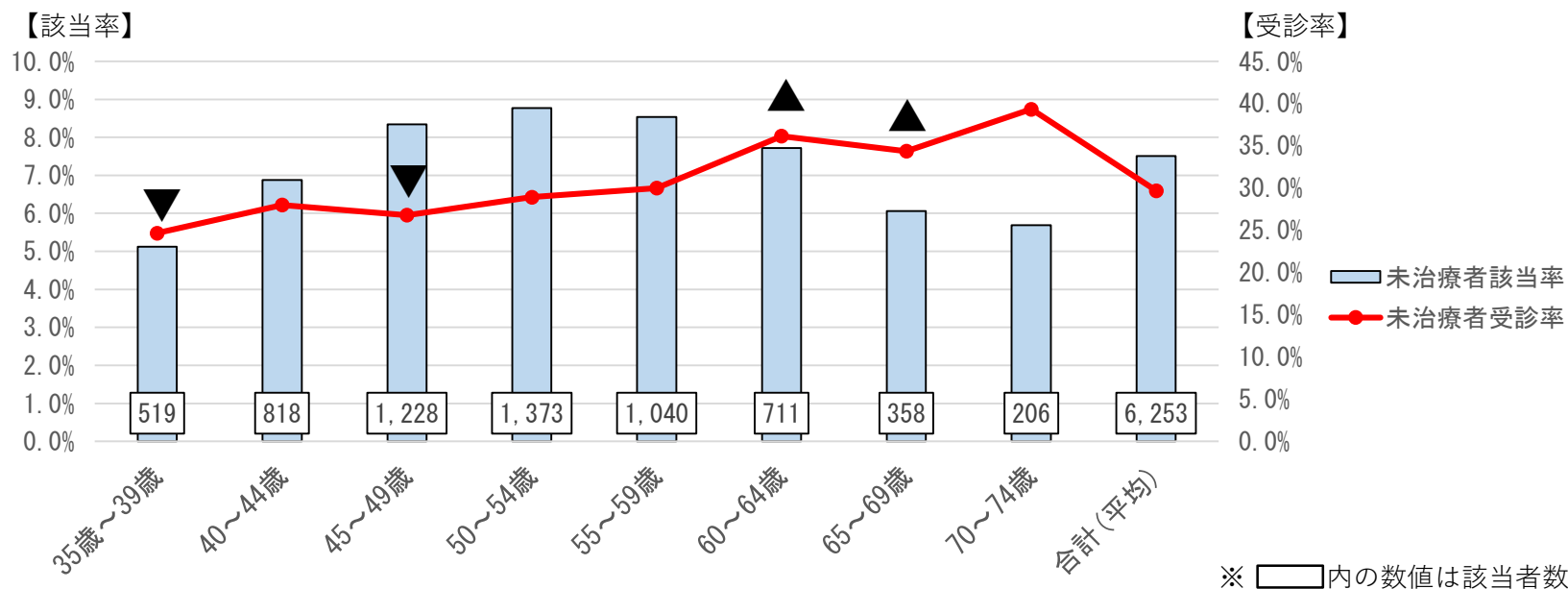
性別	年齢階級	健診受診者数	健診後10か月以内医療機関受診			
			未治療者			
			該当者数	該当率	受診者数	受診率
男性	35歳～39歳	10,139	519	5.1%	128	24.7%
	40～44歳	11,888	818	6.9%	229	28.0%
	45～49歳	14,719	1,228	8.3%	329	26.8%
	50～54歳	15,654	1,373	8.8%	397	28.9%
	55～59歳	12,186	1,040	8.5%	312	30.0%
	60～64歳	9,210	711	7.7%	257	36.1%
	65～69歳	5,907	358	6.1%	123	34.4%
	70～74歳	3,623	206	5.7%	81	39.3%
	合計	83,326	6,253	7.5%	1,856	29.7%
女性	35歳～39歳	6,290	126	2.0%	40	31.7%
	40～44歳	7,052	183	2.6%	61	33.3%
	45～49歳	9,018	350	3.9%	104	29.7%
	50～54歳	9,424	504	5.3%	196	38.9%
	55～59歳	7,782	524	6.7%	182	34.7%
	60～64歳	5,477	358	6.5%	134	37.4%
	65～69歳	2,732	168	6.1%	61	36.3%
	70～74歳	1,353	79	5.8%	26	32.9%
	合計	49,128	2,292	4.7%	804	35.1%

4. 分析結果（健診後の受診時期）

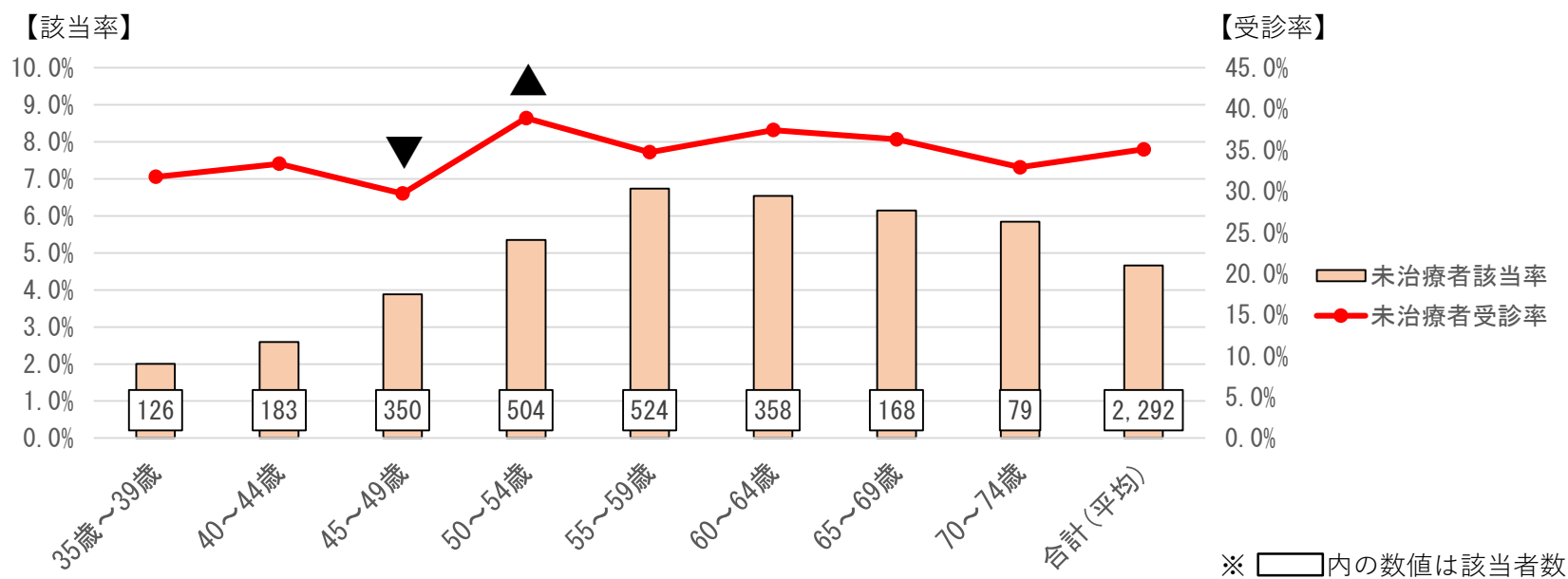


5. 分析結果（性年齢別）

【男性】



【女性】

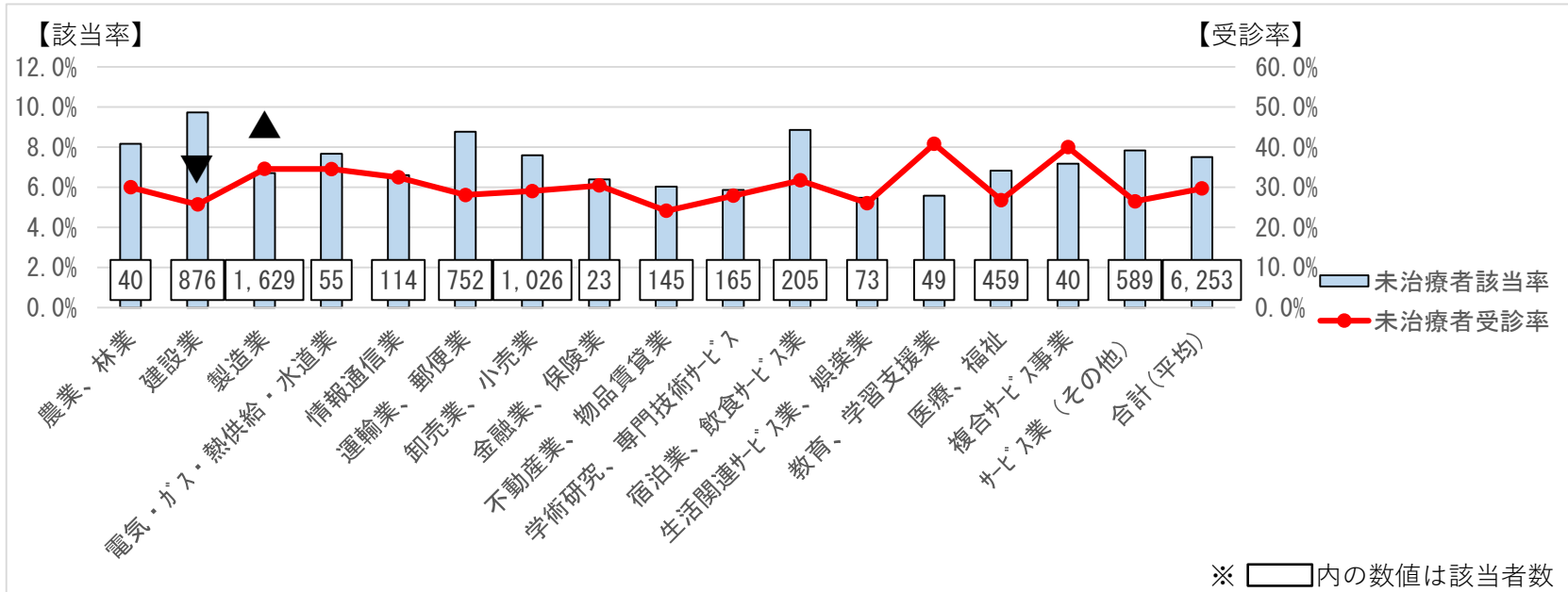


※カイ二乗検定調整済み残差分析（受診率）

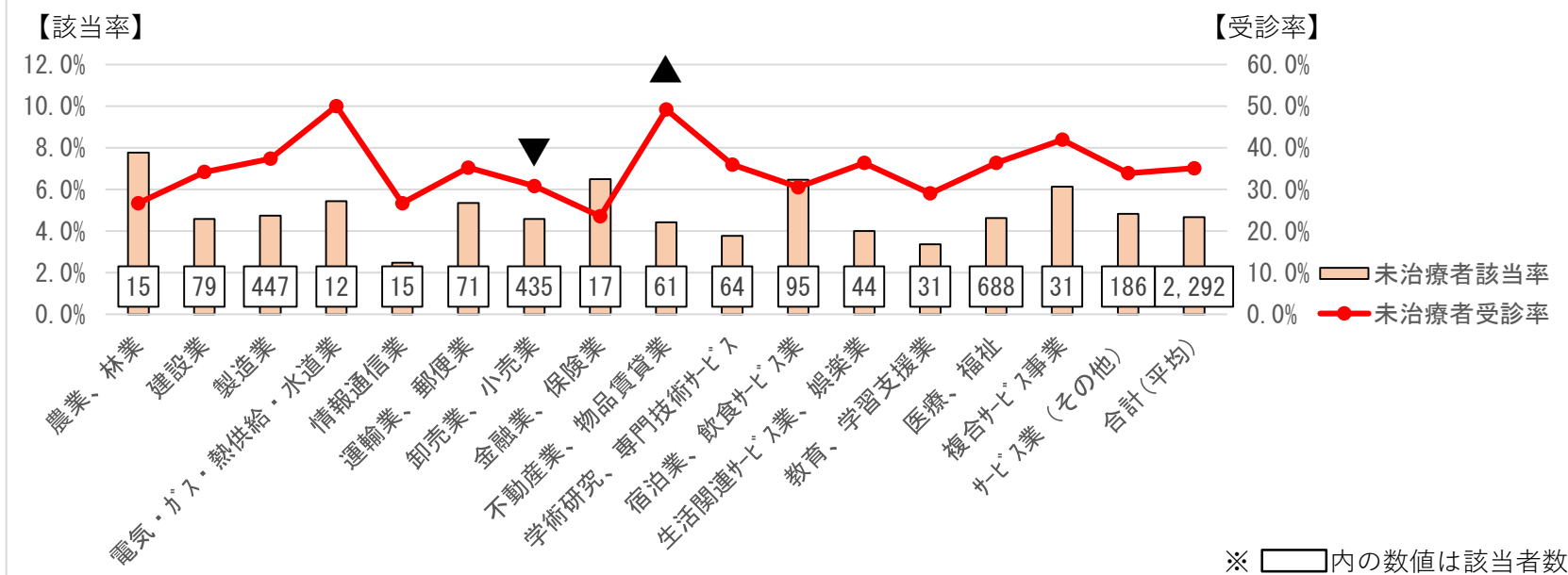
▼ ≤ -1.96 で有意に低い、▲ ≥ 1.96 で有意に高い

6. 分析結果（業態別）

【男性】



【女性】

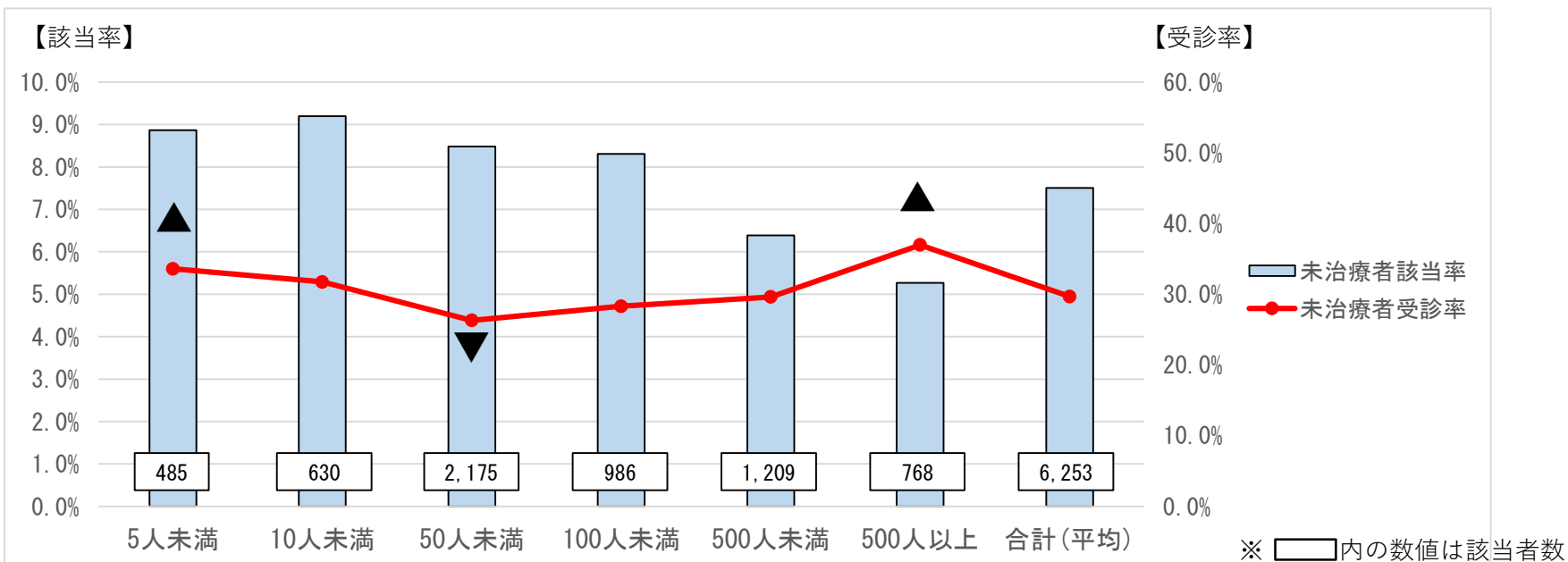


※カイ二乗検定調整済み残差分析（受診率）

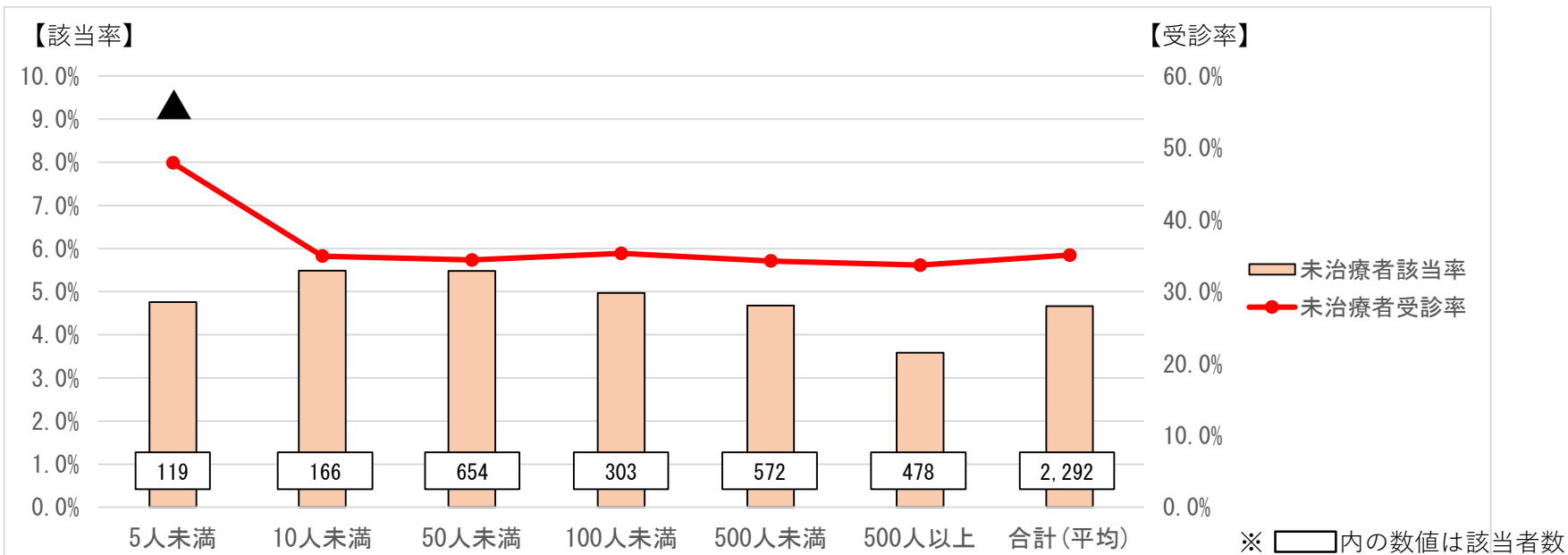
▼ ≤ -1.96 で有意に低い、▲ ≥ 1.96 で有意に高い

7. 分析結果（事業所規模別）

【男性】



【女性】

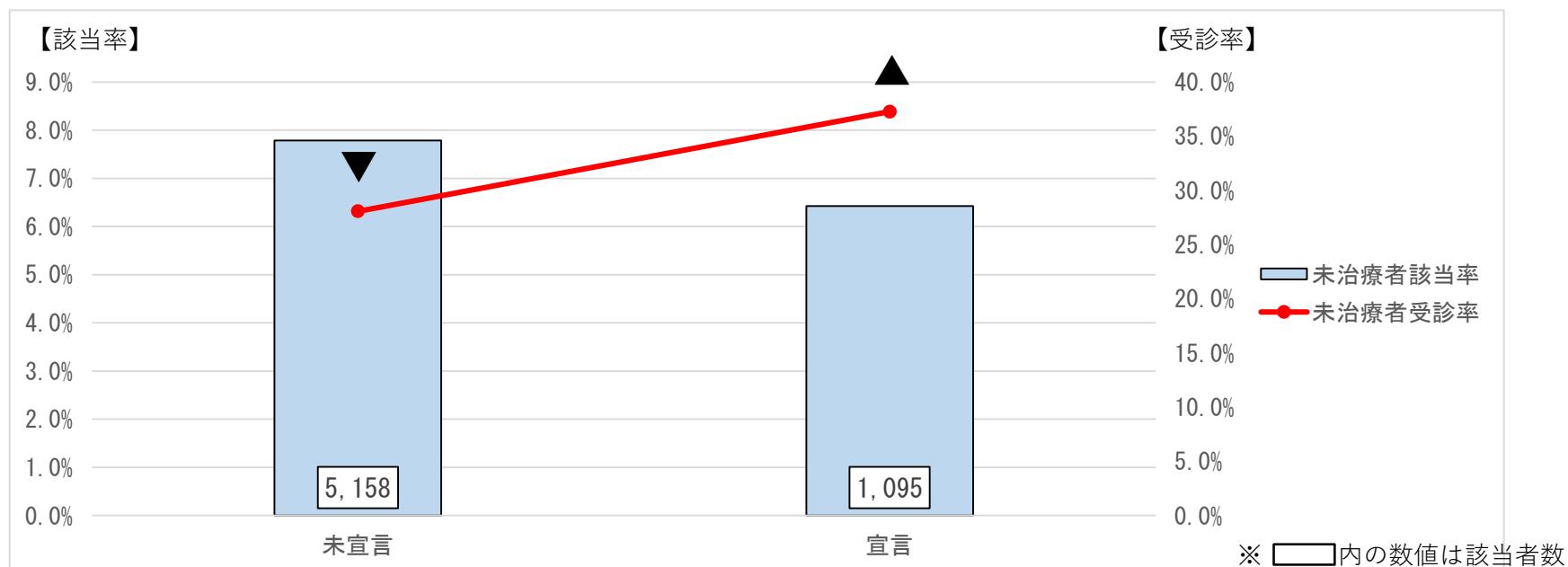


※カイ二乗検定調整済み残差分析（受診率）

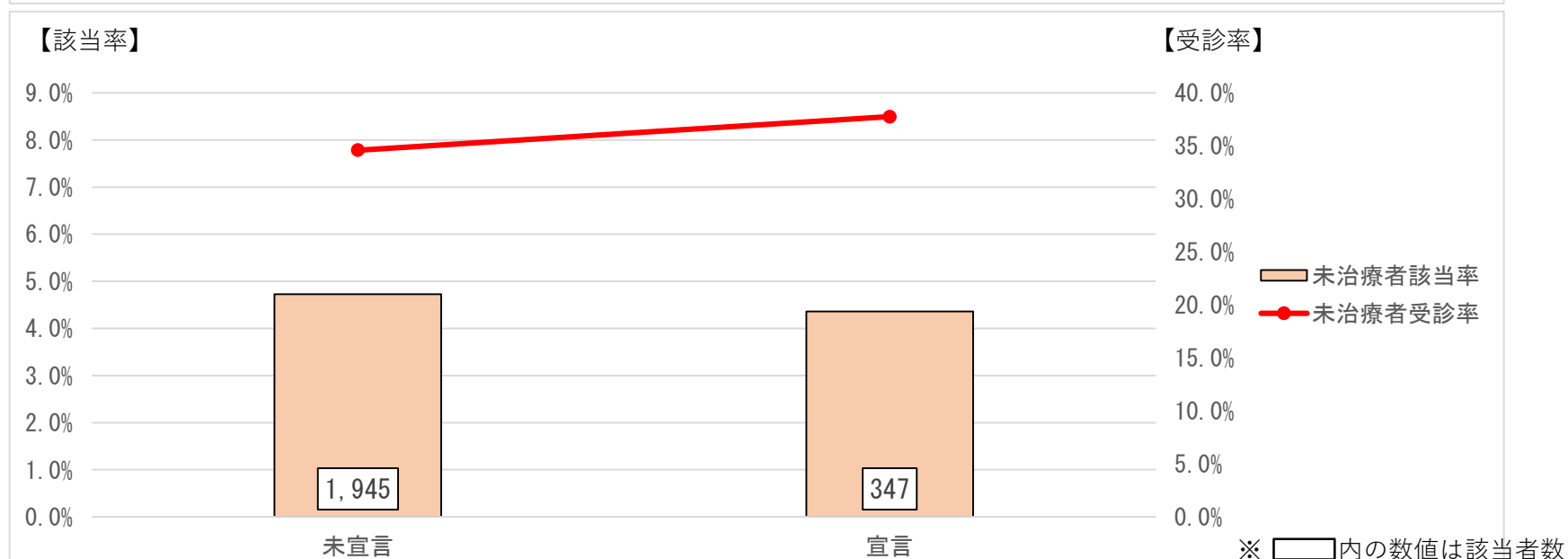
▼ ≤ -1.96 で有意に低い、▲ ≥ 1.96 で有意に高い

8. 分析結果（健康宣言の有無別）

【男性】



【女性】

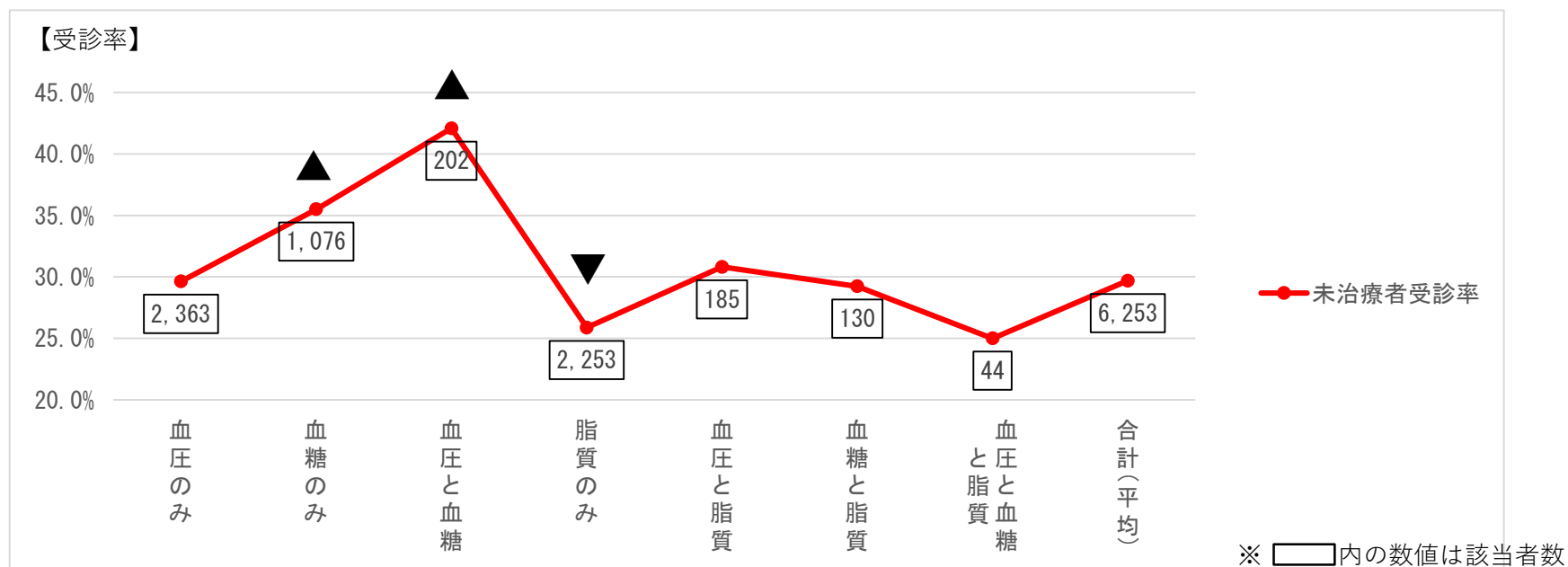


※カイ二乗検定調整済み残差分析（受診率）

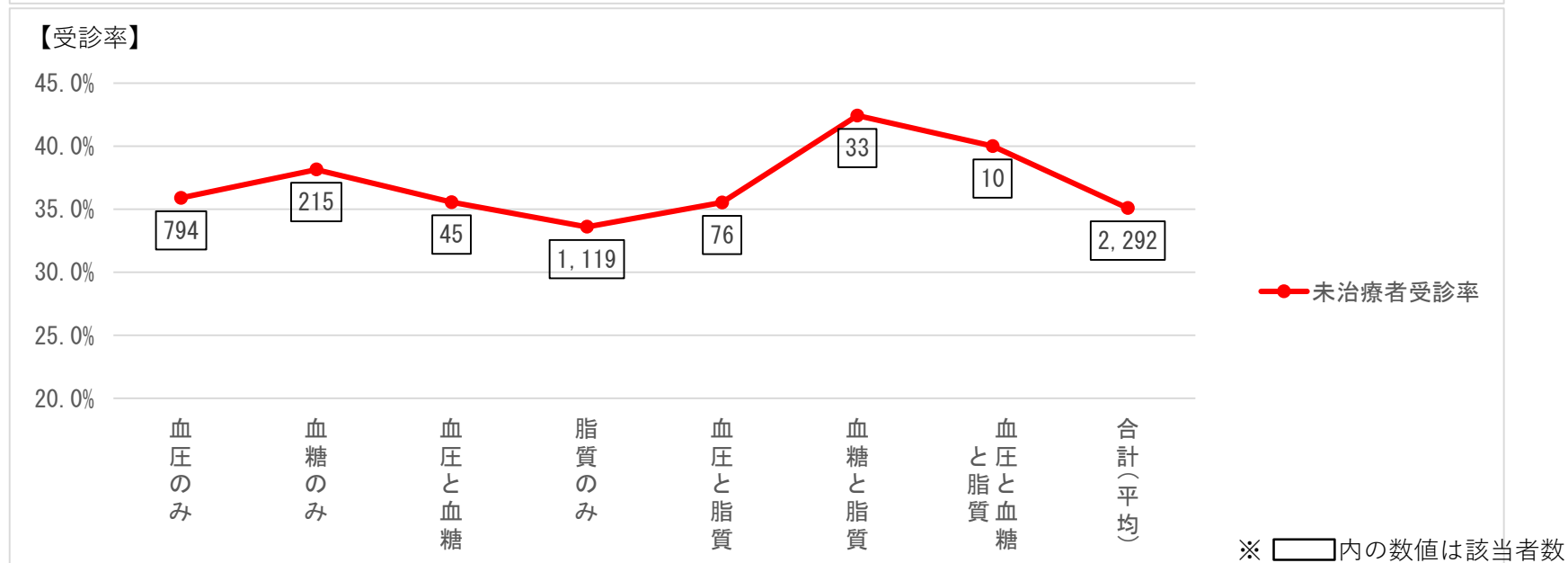
▼ ≤ -1.96 で有意に低い、▲ ≥ 1.96 で有意に高い

9. 分析結果（未治療者該当区分別）

【男性】



【女性】



※カイ二乗検定調整済み残差分析（受診率）

▼ ≤ -1.96 で有意に低い、▲ ≥ 1.96 で有意に高い

10. 考察

- ✓ 受診時期について、健診後3か月以内の受診者が多いことから、**健診機関、及び事業主等による早期の受診勧奨**の重要性を再認識した。
- ✓ 受診率の低い健診機関に対しては健診結果通知の方法、表現等を工夫いただくこと、受診率の低い事業所に対しては従業員に対する受診勧奨方法等を工夫することを依頼する等の取り組みを強化し、未治療者の受診率向上を図っていききたい。
- ✓ 業態別、規模別、宣言有無別に受診率に違いがあることから、様々な**事業所の働き方や特徴**が受診率に影響を与えることが示唆された。受診率の低い集団への効果的なアプローチや、受診率の高い集団の好事例を広く情報発信すること等、未治療者の更なる受診率向上に取り組んでいききたい。